

岩手海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況（終了時公表）

2 学識経験委員・中立委員候補者

(1) 個人推薦

なし

(2) 団体推薦

番号	推薦を受ける者（被推薦者）									推薦をする団体				推薦の理由	
	氏名	フリガナ	年齢	性別	職業	経歴		専門分野または資格等	学識経験または中立の別	岩手海区漁業調整委員会との関わり	団体名	代表者名	設立目的		構成員数
						期間	学歴・職業・職名 役職名等								
15	八木橋 美紀	ヤギハシ ミキ	45	女	税理士	H5.4月～H9.3月 H9.10月～H14.12月 H17.4月～H19.4月 H19.4月～H21.3月 H21.9月～ H27.5月～ R1.8月～	横浜国立大学経営学部会計情報 学科 高橋勤税務会計事務所 岩手総合法律事務所 東亜大学通信制大学院総合学術 研究科法学専攻 八木橋美紀税理士事務所 盛岡市監査委員 岩手県財産評価審議会委員	税理士資格 税務全般 企業会計	中立	利害関係を有し ない	東北税理士会 岩手県支部連 合会	工藤 重信	事業遂行につ いて県連の区 域内に設けら れている支部 を総合調整 し、かつ、本 会と支部との 連絡調整を図 る	268名	八木橋美紀氏は平成21年に税理士登録をし、その後税理士として業務を行う他、支部会員として支部の活動にも積極的に関わってきました。その他岩手県の行政委員や盛岡市の委員に任命されており、税理士としての専門的な経験のみならず、中立的な立場としての視野に基づき業務を行うことができることから、岩手海区漁業調整委員会委員として推薦を行う。

16	平井 俊朗	ヒライ トシアキ	59	男	<p>大学教授 岩手大 学・農学 部/同 三陸水産 研究セン ター長</p>	<p>S55.4月～S59.3月 S59.4月～S61.3月</p> <p>S61.4月～H2.3月 H2.4月～H3.3月</p> <p>H3.4月～H17.3月</p> <p>H17.4月～H21.3月 H21.4月～H25.3月 H25.4月～H28.3月 H28.4月～</p> <p>H30.5月～H31.3月</p> <p>R1.5月～R3.2月 R1.7月～R4.3月</p> <p>R1.9月～R3.5月</p> <p>R1.9月～R2.3月</p> <p>R2.9月～R3.3月</p> <p>R1.11月～</p>	<p>北海道大学水産学部 同 大学院水産学研究科博士前 期課程</p> <p>群馬大学大学院医学研究科 岡崎国立共同研究機構・基礎生 物学研究所・特別協力研究員</p> <p>西東京科学大学（現 帝京科学 大学）・理工学部（現 生命環 境学部）・バイオサイエンス学科（現 生命科学科）・助手</p> <p>同 講師 同 准教授 同 教授</p> <p>岩手大学・農学部・教授/同 三陸水産研究センター 大槌町地域産業イノベーション 事業「新産業創出研究セン ター」の整備に係る技術運営 検討会委員</p> <p>釜石市水産審議会委員 田野畑村漁業就業者育成協議会 委員 岩手県水産試験研究評価委員会 委員 令和元年度岩手県三陸海域研究 論文知事表彰事業選考委員会委 員 令和2年度岩手県三陸海域研究 論文知事表彰事業選考委員会委 員 第28回全国水産・海洋高等学 校生徒研究発表東北地区大会審 査委員</p>	<p>水産増養殖学、水 族生理学、生殖生 物学、内分泌学</p>	<p>学識経験</p>	<p>利害関係を有し ない</p>	<p>岩手県漁業協 同組合連合会</p>	<p>大井 誠治</p>	<p>会員が協同し て経済活動を 行い、所属員 の漁業の生産 能率の向上等 その事業の振 興を図り、 もって所属員 の経済的、社 会的地位を高 めること</p>	<p>28会員</p>	<p>被推薦者はこれまで動物の繁殖生理に関する研究活動を継続しており、その中で魚類生殖生物学分野においてその制御機構を担う中核分子の同定など、いくつかの世界に先駆けた成果を挙げている。またそれらの基礎研究を踏まえて地域水産業への貢献を目指した研究を展開してきた。平成28年に岩手大学三陸水産研究センター教授として着任後は、水産システム学コースの専任教員及び三陸水産研究センター長として水産教育にあたっており、資源造成対策として海面養殖の研究に取り組むなど、近年の岩手県の水産事情にも通じており、識見があることから岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。</p>
----	-------	----------	----	---	--	---	--	--	-------------	-----------------------	--------------------------	--------------	--	-------------	--

17	熊谷 正樹	クマガイ マサキ	64	男	岩手県立宮古水産高等学校元校長	S50.4月～S55.3月 S55.4月～H17.3月 H17.4月～H20.3月 H20.4月～H24.3月 H24.4月～H29.3月 H28.8月～ H18.5月～H21.3月 H23.4月～H24.3月	北海道大学水産学部漁業学科卒・特設専攻科修了 岩手県立高等学校講師・教諭(宮古水高・広田水高) 岩手県教育委員会事務局指導主事・主任指導主事 岩手県立高等学校副校長(大迫高・宮古水高) 岩手県立高等学校校長(遠野緑峰高・宮古水高) 岩手海区漁業調整委員会委員(第21期) 文部科学省学習指導要領改善協力者(水産) 文部科学省教科用図書検定調査審議会専門委員	水産教育(漁業・漁船漁業)	学識経験	利害関係を有しない	岩手県漁業協同組合連合会	大井 誠治	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的、社会的地位を高めること	28会員	被推薦者は、本県の水産高等学校において、長年水産教育に従事し、本県の水産業を担う人材の育成に務めてきた。特に文部科学省等が実施した担い手育成事業の導入を積極的に進め、本県の漁業現場と連携を図り現場実習を取り入れるなど成果をあげてきた。宮古水産高校の元校長として地元で根差した水産教育にあたった経歴があり、北海道大で水産学を学び知見も有し識見がある。岩手海区漁業調整委員会委員を1期務め、本県の水産調整に理解があり、課題等についても精通している。以上から岩手海区漁業調整委員会委員として推薦する。
18	斎藤 千加子	サイトウ チカコ	56	女	大学教授(岩手県立大学総合政策学部)	S63.3月 S64.4月～H2.3月 H2.4月～H5.3月 H5.4月～H8.3月 H8.4月～H10.3月 H10.4 H17.4～H23.3 平成23年4月～ 令和2年3月～ 令和2年4月～ 平成28年8月～	早稲田大学政治経済学部政治学科卒業 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程公法専修修了(政治学修士) 早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程公法専修単位取得満期退学 富士大学経済学部経済学科専任講師 富士大学経済学部経済学科助教授 富士大学経済学部経営法学科助教授 岩手県立大学総合政策学部助教授、准教授 岩手県立大学総合政策学部教授 岩手県政府調達苦情検討委員会委員 岩手県後期高齢者医療審査会委員 岩手海区漁業調整委員会委員(第19期から21期)	行政訴訟に関する研究	学識経験	利害関係を有しない	岩手県漁業協同組合連合会	大井 誠治	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的、社会的地位を高めること	28会員	被推薦者は、岩手県立大学総合政策学部の教授で法学の専門家であり、漁業調整等における公正公平な立場での専門的な意見が期待される。また、海区漁業調整委員会委員を3期務めており、本県の水産調整にも理解があるほか、課題等についても精通している。以上から岩手海区漁業調整委員会委員として適任であり推薦する。

19	菅野 信弘	カンノ ノブヒロ	61	男	北里大学 教授 海洋生命 科学部学 部長・研 究科長 三陸臨海 教育研究 センター 長	1984.3 1984.4 - 1989.1 2014.7 - 2014.7 - 2020.7 2016.8 -	東北大学大学院博士前期課程修了 北里大学水産学部入職（助手） 農学博士（東北大学） 北里大学海洋生命科学部長 岩手県水産審議会委員 第21期岩手海区漁業調整委員 会委員	水圏生物分野の応 用生物化学（水圏 未利用生物資源の 利用）	学識経験	利害関係を有し ない	岩手県漁業協 同組合連合会	大井 誠治	会員が協同し て経済活動を 行い、所属員 の漁業の生産 能率の向上等 その事業の振 興を図り、 もって所属員 の経済的、社 会的地位を高 めること	28会員	被推薦者は、岩手県の水産物を中心とした水圏未利用生物資源の研究に取組み、地域水産業への貢献を目指した研究を展開してきた。北里大学の教授であり、海洋生命科学部長として水産教育にあたっているほか、大船渡の三陸臨海教育研究センターの所長を兼務しており、岩手県の水産事情にも通じていることから、識見を有している。また、第21期海区委員に就任し、実績も有していることから岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
----	-------	----------	----	---	--	---	--	---	------	---------------	------------------	-------	---	------	--

(3) 募集（応募）

番号	応募する者										応募の理由
	氏名	フリガナ	年齢	性別	職業	経歴		専門分野または 資格等	学識経験または 中立の別	岩手海区漁場調整 委員会との関わり	
						期間	学歴・職業・職名 役職名等				
20	渡部 容子	ワタナベ ヨウコ	38	女	弁護士	H13.4月～H17.3月 H17.4月～H20.3月 H20.12月～H21年12月 H21.12月～ H28.10月～ R1.10月～ R2.3月～	中央大学法学部法律学科 中央大学法務研究科法曹専攻 最高裁判所司法研修所 仙台弁護士会登録 岩手弁護士会登録 岩手労働審議会委員 岩手県政府調達苦情検討委員会 委員	弁護士 法務博士	中立	利害関係を有し ない	私は、横浜出身ですが、母が岩手県出身で、幼少の頃より岩手の海産物に親しみ、現在は3児の母として毎日岩手の海産物を頂き、その豊かな恵みに非常に感謝しております。岩手県漁業の発展と普及のため、弁護士経験を生かしたく応募させていただきます。